

令和6年度 第4回青森県特別支援学校総合スポーツ大会

「フットソフトボール競技」実施要項

- 1 日 時 令和6年7月11日（木）
- | | |
|-----------|-------------|
| 監督会議 | 10：10～ |
| 開会式 | 10：20～10：30 |
| ウォーミングアップ | 10：30～11：00 |
| 競技開始 | 11：00～ |
- 2 会 場 新青森県総合運動公園 多目的広場（荒天時中止）
- 3 監督会議 10：10～
- 4 競技方法
- (1) 攻守の決定は、監督及び主将立会いのもと、球審のコインのトスによる。
 - (2) 3回または、試合開始から30分が経過したイニングまで行うものとする。
(規則：7回または、試合開始から60分が経過した回まで)
※コールドゲームはなしとする。
※出場チーム数によっては、試合時間の変更があり得る。
 - (3) 1イニングで、攻守の交代は、3アウトまたは、キッカーが1巡したときとする。
 - (4) 投球は、投手板に両足を触れてキッカーに正対し、身体の前に両手でボールを持った状態で完全に停止しなければならない。この姿勢を2秒以上5秒以内持続した後、投球動作を始めなければならない。
 - (5) 投手は、投手板に両足を触れてキッカーに正対し、股の下から両手で転がして投球しなければならない。
 - (6) 攻撃は、打順表に記載した名前の順序によりキックを行う。
※競技ミーティング後に各チームで打順を決め、1番から番号順にビブスを付ける。
 - (7) キッカーは、足でボールをけらなければならない。キッカーの軸足は、本塁を含むキッカー席内になければならない。
- 5 競技規則
- 2021年度版全国障害者スポーツ大会競技規則及び青森県特別支援学校総合スポーツ大会申し合わせ事項による。
- (1) エントリー対象
- ・知的障害及び病弱の特別支援学校に在籍する中学部・高等部生徒とする。
 - ・チームは男女混合可とする。
 - ・チーム編成は、監督1名、コーチ1名、選手15名以下（出場プレーヤー9名、交代プレーヤー6名以内）とし、ベンチに入ることができる教職員は監督1名、コーチ1名の計2名までとする。ただし、支援が必要な生徒に対しては、支援員として、生徒一人につき教員を一人つけてもよいこととする。この場合、支援員は監督及びコーチ以外の教員とし、ベンチ選手として数えない。
 - ・各校で複数チームの参加を可とする。
 - ・学校単独での参加が困難な場合は、本大会開催要項別紙2「合同チームによる大会参加についての基本的な考え方」により、合同チームでの参加を認める。合同チームの調整が困難な場合は、URL (<https://forms.gle/gUPZPwmJyPF3h5pW8>) または、下記QRコードにて自校の状況を回答し、その回答を参考の上、各校で調整する。



(2) 競技場

- ・競技規則に掲載してある競技場より、下記の項目は必須とする。

各塁間の距離は15mとする。

投手板と本塁ベース間の距離は10mとする。

ピッチャーズサークルは投手板の前線の中心から半径1.5mの円とする。

キッカ一席は、縦2.5m、横1.5mとする。

(3) 競技者の服装

動きやすい服装に専門部で準備したビブスを着用する。

(4) 試合球

試合球は、サッカーボール（ゴム製4号球）とする。

(5) 組合せ

- ・原則、トーナメント戦で試合を行う。但し、出場校数によってはリーグ戦で行う場合もある。

- ・組合せは、令和6年5月21日（火）に主催者が代理抽選の上、決定する。

(6) 順位の決定と表彰

- ・トーナメント戦で決勝戦まで実施できなかったときは、得失点差で順位をつける。

- ・1～3位まで賞状を授与する。4位以下は敢闘賞の賞状を授与する。

- ・決勝戦終了後、コートにて閉会式（表彰式）を行う。

6 その他

(1) 審判員は、青森県軟式野球連盟青森支部に依頼する。

(2) 試合終了後は速やかにベンチを空けること。前の試合のチームが退席した後であれば、次の試合のチームが競技エリア内へ入ることを認める。

(3) 合同チームで参加する場合を考慮し、第一試合開始前30分程度をウォーミングアップ及び練習時間とし、各チーム練習にあたる。チーム数によっては、練習時間を変更することも有り得る。

【フットソフトボール専門部主管校】

青森県立八戸高等支援学校

委員長 小松崎 弦

TEL 0178-32-2854

FAX 0178-32-2857

E-Mail 2020ases011@gmail.com